

第4回ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえ 大賞

(敬称略)

部門	氏名	住所	推薦者	育児対象	概要
パパの育休部門	大庭 正寛	四日市市	本人	子 (0歳、2歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業を6か月間取得 ・第1子が1歳、妻が妊娠7か月の際に三重県へ転勤し、身近に頼れる人がいない状況の中、育児休業を取得。 ・会社の情報を得られるようタブレット端末の貸与や、事業所訪問デーなどの会社の情報が得られるよう勤め先から配慮もあり、育児休業を取得することが出来た。また、会社からの勧めで休業中に3つの資格を取得。 ・育児休業中、家事を行うが、妻が後からやり直すこともあったが、やり方を妻から習う、得意分野での家事分担など、二度手間を無くすことを目指す。 ・育児休業を通して、妻の努力や苦勞を知るとともに、仕事においても効率を上げ時間を生み出すこと、優先順位を決め仕事を行うなど、育児や家事から学んだことを仕事に活かしている。
みんなの子育てエピソード部門	中村 仁	松阪市	中村未来 (妻)	子 (2歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・無農薬野菜を息子に食べさせてたい、自然が多い三重だからできる子育てをしたいという思いから、畑を借り野菜作りをしている。 ・息子が離乳食を食べられるころには、野菜も育ち念願がかない我が子に無農薬野菜を与えることが出来た。 ・息子が歩けるようになった際には、食育の意味も込め、一緒に畑に行き野菜を植え、収穫をして、残さず食べることを実践。
	川島 昌平	多気町	川島 夏美 (妻)	子 (0歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回は”父の日”として、3家族のパパが集まり、5人の子どもの育児をしている。 ・”父の日”には、おもちゃで遊んだり、近所を散歩するとともに、子育てエピソードの交換をしている。その間ママたちはランチタイムを楽しんでいる。 ・”父の日”を機に自信が付き、積極的に子育てをするように。

第4回ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえ 部門賞

部門	氏名	住所	推薦者	育児対象	概要
パパの育休部門	北村 光男	津市	北村 美由紀 (妻)	子 (1歳、3歳、5歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業を7か月間取得。 ・3人目の出産後の保育園が決まらない状況で育児休業取得を決意。 ・育児には積極的であったが、実際に育児休業を取得してみると、次男のイヤイヤ期も重なるなど、予想以上に大変であったが、時短家電の購入や家事の進め方の工夫など自分なりの方法を試行錯誤。夫婦で改善策を話し合うこともあった。 ・育児休業後には、「俺にできないのは母乳を出す事だけだ」とまで言えるようになった。
みんなの子育てエピソード部門	内田 恭史	菰野町	内田 真智子 (妻)	子 (3歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域のパパ」となり、自分の子どもと一緒に近所の子どもたちと遊んでいる。 ・パパ一人が5人の子どもたちと遊ぶことも。 ・息子は大好きな近所のお兄ちゃん、お姉ちゃんと遊べ、ママたちは安心してゆっくりすごせる。
わが社のイクボス部門	田中 基子 (イケダアクト株式会社)	鈴鹿市	本人		<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み期間中に孫を預かった従業員が事務所に孫を連れてきたことを機に、他の従業員も子どもを連れてきて、事務所内で従業員が交代で子どもを見ることに。 ・打合せ室におもちゃをおいたり、会社で扱っている重機を見に行ったりと従業員の理解も得て、会社で子育て支援ができた。

第4回ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえ グッドエピソード賞

部門	氏名	住所	推薦者	育児対象	概要
パパの育休部門	別所 慎介	津市	本人	子 (0歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業を2か月間取得 ・ママが育児休業が困難な状況で、少しでも長く自分たちで子どもの面倒を見てあげたいと育児休業を取得 ・育児休業取得に向けて、なるべく早い段階で上司と相談し、職場の理解を得て業務の引き継ぎをスムーズに行えるよう工夫するとともに、金銭面の不安等を取り除くため、制度等についてしっかり相談した。 ・ママのサポートではなく、自分が主体となり子育て。一方が仕事、もう一方が子育てすることを互いに経験でき、夫婦間の理解が深まった。
	福永 喜一	津市	本人	子 (2歳、3歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業を3か月間取得。 ・妻が仕事にやりがいを持って取り組んでいることを感じ、「出産とおっぱい以外は男でもできる」と考え育児休業を取得。 ・育児休業を取得し、キャリアが一定期間中断するデメリットよりも、普段できない経験をつむことで社会人生活、家庭生活に好影響を与えるメリットの方が大きいと実感。
	田中 浩司	鈴鹿市	渥美 裕子 (同僚)	子 (0歳、2歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業を1年間取得。 ・育児休業中は職場が月に1回発行する情報誌に育児経験談を投稿。 ・買い物に出かけると、すれ違う人に見られていると感ずることがあるが、自分を通じて男性が子育てすることに対する常識や意識を変えられるよう積極的にお出かけしたい。
みんなの子育てエピソード部門	伊藤 和洋	菰野町	伊藤 恵美 (妻)	子 (3歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本が大好きな息子と一緒に声を出して、仕事で疲れていても笑顔で、一緒に絵本を読んでいる。 ・だっこや寝かしつけ、洗濯、風呂掃除、皿洗いなどできることを手伝っている。
	坂口 徹	菰野町	坂口 詩乃 (妻)	子 (3歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・息子を厳しく叱ってほしいお母さんに対し「お母さんと同じように怒ると息子の逃げ場がなくなる。叱ることはできないが、なぜお母さんが怒ったのかを説明する役をする」と、お母さんとは違う役割で接している。
	出口 亮太	四日市市	本人	子 (6歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと遊ぶ時間がなかなか取れない中、短い時間で子どもも成長できる事として、オセロを楽しんでいる。
	松林 秀典	津市	松林 愛 (妻)	子 (4歳、6歳、9歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・夕食の準備の時間には子どもの宿題をみる、PTAや保育園の役員などにも積極的に参加するなど、「ママの手間を少なくする」、「ママが子どもと接する時間を作る」ことを考えて子育てしている。
	喜田 英明	鈴鹿市	本人	子 (3歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノを習い始めた娘から、ピアノを教わり、親子の時間を楽しんでいる。
	亀山 透	四日市市	亀山 満子 (妻)	子 (0歳、3歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2子の出生以降、帰宅時間が早くなり、出勤前、帰宅後には子どもと体を使った遊びや寝る前の絵本の読み聞かせが習慣に。
	関口 信人	松阪市	関口 典子 (妻)	子 (3歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ママのほうがいい」という子どもと接するため、トマトを2人で育てる。それ以降「パパと」という場面が増えた。
	中川 正之	津市	中川 奈美 (妻)	子 (5歳、8歳、11歳)	<ul style="list-style-type: none"> 3人兄弟の長男がケガのリハビリのため病院へ行く間、2人の子どもが留守番をすることが増えた際に、「朝早く出勤、夕方早く帰る」会社の制度を利用。子どもたちの心も安定し、長男もリハビリをがんばることができた。
わが社のイクボス部門	川會 尚也 (ザ・ビッグ菰野店)	愛知県名古屋市	小林史和 (部下)		<ul style="list-style-type: none"> 全員で助け合って仕事をするよう取り組むことにより、従業員の意識を変え、仕事も効率化し、残業も減。また、従業員が仕事をしやすいようなサポートや、悩んでいる従業員には最優先で時間を作り話を聞くとともに、自身も積極的に子育てに関わっている。
	田宮 良則 (日本政策金融公庫津支店)	津市	黒武者 潤次 (部下)		<ul style="list-style-type: none"> 「ワークライフマネジメント」のため、ノー残業デーやファミリー休暇、単身赴任者のための休暇など支店オリジナルの休暇制度を作るなど、育児参画支援に積極的に取り組んでいる。